

新潟市の鳥



ハクチョウ ガイドブック

ぼくたちのこと
紹介します

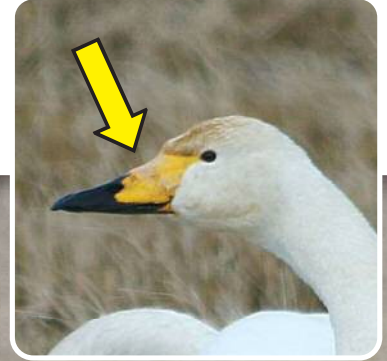




ハクチョウがどんな鳥か知ってる？

- 新潟市には、コハクチョウ、オオハクチョウの2種類が渡ってくるよ。
- 新潟市では、10月～3月の間生活しているんだ。
- 新潟市で見られる野生の鳥類では、最大級の大きさだよ。

オオハクチョウ



くちばしの黄色の形で見分けられるよ



マガモ（代表的なカモ）

カモの仲間とは体の大きさが倍以上も違うよ。カモは首が短く、オスは種類ごとにきれいな模様をしているのが特徴。

首が長い

体は白い

夏に生まれた幼鳥の体は全体的に灰色をしているよ。この時は2月だったので、体がだいぶ白くなっているね。

足は黒い

コハクチョウ



秋に渡ってきた時の幼鳥はこんな感じ。



田んぼでエサをとっていると泥で汚れてしまうことも。



足跡の形はこんな感じ。水かきが立派でしょ。



ぼくたちの魅力を紹介します

1. 大きいところ・重いところ

コハクチョウの体長は120cm、体重は5～7kgもあるので、近くで見ると迫力があるかも。体重が重いので歩くのはちょっと苦手。田んぼを歩いている時はお尻をふっているようでとってもキュートなんだって。足には水かきがあるから、泳ぎは得意だよ。

2. 飛び立つ姿・飛んでいる時の様子

カモやガンの仲間はその場で飛び立つことができるけれど、ぼくたちは体重が重いので数十メートルの助走がないと飛び立つことができないし、降りる時も大変。でも、一度飛び立てば長距離飛行も可能。旅をする時はV字型で飛ぶけれど、先頭は風の影響を一番受けるので、リーダーや体力のある仲間が先導するんだ。

3. エサを食べている様子

大きな体を維持するために、たくさんエサを食べるよ。エサは田んぼにある落ちモミや、稲を刈り取った後から伸びてきた二番穂が大好きだけど、田んぼの畔に生えている植物の葉っぱや根っこなども食べるんだ。みんながエサを食べている時は、必ず誰かが首をのぼして見張りをすることにしているよ。



4. 家族で仲良し

ぼくたちは家族仲良し。行動する時はいつも一緒だよ。オスとメスで一度カップルが成立すると、生涯一緒なんだ。夏に生まれた子どもたちは体が灰色なので、白いハクチョウ2羽のお父さん、お母さんの周りにはいる灰色のハクチョウを数えると、きょうだいが何羽いるのか分かるよ。

5. まっ白

くちばしと足以外はほとんどがまっ白。稲刈りが終わった後の田んぼではちょっと目立つけれど、雪が降ってしまうとどこにいるのか見つけにくくなるよ。雪が多いとエサをとりにくくなるけれど、少しくらいの雪ならへっちゃら。





ぼくたちが新潟市を大好きな理由

新潟市はコハクチョウの越冬数が全国の市町村で一番多いんだって。その数は1万羽を超えるほど。どうしてこんなにたくさんのコハクチョウがやってくると思う？

【 潟がある・川がある 】

新潟市内には、ラムサール条約湿地の佐潟をはじめ、大小さまざまな潟があるよね。また国内でも有数の大きな河川である阿賀野川、信濃川も市内を流れている。ぼくたちは夜にねる時に、キツネやタヌキなどの敵に襲われない安全な水辺に集まるんだ。水辺環境の多い新潟市は、敵から身を守る安全な場所がたくさんあるから安心して休むことができるんだ。



【 田んぼがある 】

潟などの安全な水辺の周辺には、田んぼが広がっているよね。田んぼはエサをとるための大切な場所なんだ。新潟市の田んぼは、群馬県全体の田んぼの面積と同じくらい広大な面積なんだって。エサをとる場所がたくさんあることは、ぼくたちにとって大きな魅力なんだ。



【 冬になると雪が降る 】

新潟市は冬になると雨やみぞれ、雪が降ってくるけれど、実はこの気候がぼくたちにとってエサをとりやすい環境をつくっているんだ。ぼくたちは湿った田んぼなどでエサをこしとって食べるため、かたい地面に落ちたモミなどをつまんで食べることは苦手なんだ。冬の新潟市の田んぼは、いつも湿っていてところどころに水がたまっているのでエサをとりやすい環境が自然に出来あがっているのがすごいところ。



雪が降らない太平洋側では、ハクチョウたちに来てもらうよう、田んぼに水をはってエサを食べやすい環境をつくっている地域もあるんだって。



新潟市での生活の様子や生まれた場所を紹介するよ

【新潟市で過ごす1日】

○朝

潟や水辺などのねぐらから家族ごとに飛び立って、エサがある田んぼに向かうんだ。

○昼

田んぼでエサをとったり、お腹がいっぱいになると昼寝をして過ごすよ。

○夕方

暗くなる前に潟などの安全なねぐらに帰るんだ。でも時々は暗くなるまで田んぼでエサを食べていることも。

○夜

ねぐらに戻ってからは、暗くなってもしばらくはにぎやかなんだ。時々は夜ふかしすることもあるよ。

【1年間の移動の様子】

春になると、子育てのために北に渡るんだ。コハクチョウが子育てをする場所は、シベリアなどの極北に近いところ。秋には生まれて数カ月の子どもたちを連れて、約4,000kmもの距離を飛んで新潟市に戻ってくるよ。

コハクチョウの渡りの経路



なぜ新潟市の鳥がハクチョウなの？

新潟市では、平成26年に市の鳥総選挙を行い、ハクチョウを市の鳥に制定しました。

新潟市になじみの深い鳥として、投票全体の約4割がハクチョウへの票でした。

新潟市の豊かな自然環境のシンボルとして、ハクチョウがいつまでも渡ってくるように、市民の皆さんと環境保全に取り組んでいきます。



市の鳥ハクチョウの制定後、シンボルマークも出来ました



にいがた市民ハクチョウ調査の結果は？

ハクチョウが新潟市の鳥に選ばれてから、市民の皆さんがハクチョウ調査をおこなったんだって。調査は平成 27 年度、28 年度の 2 年間実施したそうだよ。平成 27 年度の結果は「市民ハクチョウ調査報告書」として、市のホームページでも公開しているから見てね。
URL : <http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/kankyo/shizenfureai/swan/swanchousa.html>

平成 28 年度もハクチョウの様子や写真、エピソードについてたくさんの情報が集まったんだって。その中から主なものを紹介するね。

【にいがた市民ハクチョウ調査参加者のコメントから】

- 「いよいよハクチョウが飛来して冬に突入、なんて実感しました。1年に1度の楽しみ、ハクチョウの鳴き声にとても癒されますし、ホッコリした気持ちになります。」
- 「上堰潟公園にて、おねぼう組の白鳥が 2 グループほど、円を描いて飛び立っていました。」
- 「夕暮れと角田山とハクチョウ、綺麗な景色でした。」
- 「臨時列車を撮影するついででたまたまハクチョウを発見することができました。」
- 「雪が積もっていても、田んぼでエサをうまく探しているようです。畔の上を一列になって行進している様子はおかしいですね (笑)」
- 「住宅街のすぐ近くに発見！地元の人によると、この田んぼで見られるのはとても珍しいとのこと。ラッキー♪」
- 「天気もよく、暖かい空のもと飛び立った他のハクチョウ達を見つめていました。故郷に戻る日も近いです。また新潟に来てくださいね。」

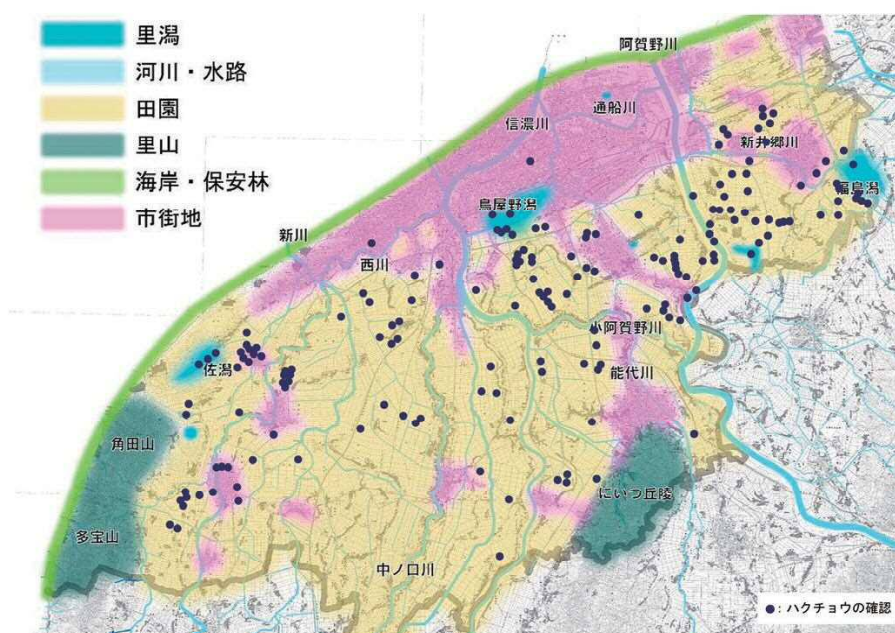


図. 平成 27 年度市民ハクチョウ調査報告書から抜粋
里潟や田園地帯でハクチョウが確認されているのが分かります。

【ハクチョウフォトギャラリー】

にいがた市民ハクチョウ調査の参加者が送ってくれた写真を紹介するよ。ハクチョウのいる風景やハクチョウを目撃した場所を撮影してくれたんだって。



【ハクチョウに関するエピソードも紹介します】

- 「都会に住む親戚が、田んぼでエサを探すハクチョウたちを見て不思議がり感激していた。湖だけでは生きていけないのだな、と・・・。」
- 「新潟へ来て41年になるが、初めての冬、ハクチョウの声を聞いて姿を見た時の感動は忘れられない。」
- 「市内のトライアスロンクラブの者です。我がチームジャージには、ハクチョウのマークが入っています。自力で何千キロもの距離を移動するハクチョウの持久力にあやかりました。」



どこにいけばぼくたちに会えるかな？

○潟（朝や夕方）

福島潟、鳥屋野潟、佐潟では仲間がまとまってねぐらをとっているよ。それぞれの潟には野鳥観察舎があるので、その屋上から観察するのがおすすめだよ。



福島潟（北区）



鳥屋野潟（中央区）



佐潟（西区）

○川の中州、水辺（朝や夕方）

阿賀野川では、大阿賀橋から見える中洲でねぐらをとっているんだ。飛び立ちが早いので早朝の観察がおすすめ。

○田んぼ（昼）

潟などに近い郊外の田んぼが広がっているところを探してみると、ぼくたちに会えるかも。

* 番外編 *

○間近に見たい時にお勧めの場所

瓢湖（阿賀野市）

瓢湖は日本で初めてハクチョウの餌付けに成功した場所なんだ。1日を通してハクチョウを間近に見ることが出来るよ。



瓢湖（阿賀野市）

にいがた生きものファンクラブ

新潟市の旬な生きもの情報や自然情報、自然環境に関するイベントなどをメールマガジンや Facebook で情報発信しています。是非ご覧ください。

メールマガジン登録の方はこちら（新潟市電子申請サービスへリンクします）



フューチャーフォンはこちら



スマートフォンはこちら

新潟市環境部環境政策課
〒951-8550 新潟市中央区学校町通一番町 602-1
TEL.025-226-1359 FAX.025-230-0467
平成 29 年 9 月 発行 10,000



みんなで創ろう

環境モデル都市

2013.3.15 政府選定

NIIGATA CITY